

第131回 教育研究評議会要録

日時 平成27年9月16日(水)午後1時00分～午後2時22分
場所 第一会議室
出席者 今岡学長, 井上理事, 小路田理事, 角田理事, 笠井理事,
三木生活環境学部長, 中島人間文化研究科長,
内田, 野村, 小林, 春本, 黒子, 三成, 出田各評議員
欠席者 柳澤文学部長, 林井理学部長, 上江洲評議員
列席者 横山学長補佐, 久保学長補佐, 酒居監事, 福田監事,
岩阪総務・企画課長, 山下情報管理活用監, 小田原国際課長, 乾研究協力課長,
西田財務課長, 齊藤施設企画課長, 藤熊学務課長, 木下学生生活課長,
名賀入試課長, 秋庭学術情報課長

議事に先立ち, 前回の記録確認。

I 審議事項

1. 第3期中期目標・中期計画の修正について

小路田理事から, 資料1により修正案の提案があった。主に女性の特性についての表現方法を見直したとの説明があり, さらに文部科学省から修正を求められる可能性があるため, 所要の対応を学長に一任することも含めて, 承認願いたいとの説明があった。審議の結果, 原案のとおり承認し, 役員会へ付議することとした。

2. アイルランド共和国トリニティーカレッジダブリンとの学術交流協定及び学生交流に関する合意書の締結について

井上理事から, 資料2により説明があり, 審議の結果, これを承認し, 締結手続きを進めることとした。なお, 先方との協議により軽微な修正の必要が生じた場合は, 学長に一任することとした。

3. その他

特になし。

II 報告事項

1. 第158回役員会について

学長から, 7月24日に開催された第158回役員会の審議概要について報告があった。

2. 平成28年度国立大学法人運営費交付金における3つの重点支援枠について
学長から、資料3により3つの重点支援枠への各国立大学の選択状況について報告があった。
3. 生活工学共同専攻の設置計画について
学長から、資料4により大学院人間文化研究科生活工学共同専攻の設置が認可されたことについて報告があり、大学設置・学校法人審議会から付された留意事項について説明があった。
4. 学術情報センター耐震改修工事期間中の各学部における自習場所の提供依頼について
井上理事から、資料5のとおり各学部長に依頼したとの報告があり、重ねて自習場所提供の協力依頼があった。
5. 平成27年度予算の早期執行について
笠井理事から、文部科学省から通知の平成27年度財務諸表提出期限が、例年より3週間程度前倒しになる関係から、3月に実施の雇用や出張等を除いて、原則2月までに早期執行するよう、資料6により報告及び協力依頼があった。
6. 2020年東京オリンピック・パラリンピック大学連携地域巡回フォーラムについて
笠井理事から、資料7により本学を会場として実施予定との説明があり、実施協力及び学内への周知依頼があった。
7. 北魚屋東町の停電について
笠井理事から、例年同時期に実施の停電について、資料8により報告があった。
8. 附属中等教育学校 校舎耐震改修工事について
笠井理事から、資料9により本年12月から来年3月にかけて工事を実施するとの報告があった。
9. 各室からの報告について
倫理・人権委員会：
平成27年度の人権問題研究集会（前期）について、配付資料のとおり9月24日（木）10時から11時30分に実施予定との案内があった。
広報企画室：
 - ・Webサイトに関するアンケート調査を実施予定との案内があった。
 - ・9月14日に仙台で実施した大学説明会が好評だった旨の報告があり、今後も各部局の協力について依頼があった。

10. その他

- ・学長から、なでしこ基金について、教職員個人からの支援も歓迎するが、基金をコンスタントに運用できる体制とすることの重要性について説明があり、本学教職員の「一人一人が営業マン」となる意識を持って関わるよう、なでしこ基金への協力趣旨の説明及び確認があった。
- ・小路田理事から、奈良女子大学出版会の立ち上げを近日中に予定していると報告があった。
- ・学長から、配付資料により平成28年度の国立大学の入学定員の動向、文部科学省国立大学法人支援課長の寄稿内容、文部科学省からの平成28年度概算要求「国立大学改革の推進」の予算規模、入試改革の動向等について説明があった。
- ・学長から、トビタテ！留学JAPAN日本代表プログラム 地域人材コースの募集について紹介があり、奈良県での就職の可能性のある学生を積極的に推薦するよう、部局長に指示があった。

以上